



2022年6月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年5月13日
上場取引所 東

上場会社名 キュービーネットホールディングス株式会社
 コード番号 6571 URL <https://www.qbnet.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北野 泰男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松本 修 (TEL) 03-6418-9190
 四半期報告書提出予定日 2022年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年6月期第3四半期の連結業績（2021年7月1日～2022年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年6月期第3四半期	14,992	7.5	901	220.4	788	439.0	519	222.9	519	222.9	662	175.5
2021年6月期第3四半期	13,951	△13.7	281	△79.2	146	△88.3	160	△80.6	160	△80.6	240	△71.0

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年6月期第3四半期	40.42	38.87
2021年6月期第3四半期	12.61	12.07

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年6月期第3四半期	30,143	10,862	10,862	36.0
2021年6月期	30,634	10,156	10,156	33.2

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年6月期	—	0.00	—	—	—
2022年6月期（予想）	—	—	—	9.00	9.00

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2. 期末配当予想の修正につきましては、本日(2022年5月13日)公表しております「配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2022年6月期の連結業績予想（2021年7月1日～2022年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,840	10.1	1,100	137.3	920	221.2	640	162.4	640	162.4	49.09

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年6月期3Q	12,893,700株	2021年6月期	12,820,900株
② 期末自己株式数	2022年6月期3Q	123株	2021年6月期	123株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年6月期3Q	12,861,008株	2021年6月期3Q	12,762,530株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しており、当社ウェブサイトにも掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	7
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2021年7月1日～2022年3月31日)は、新型コロナウイルス感染症(以下、「本感染症」という。)の影響が長期化する中、当社グループでは、万全の感染防止策を講じながら店舗運営を行ってきました。

売上収益は、引き続き本感染症の影響を受けつつも、前年同期に比べ1,041百万円増加し、14,992百万円となりました。各国の本感染症の状況及び売上収益への影響は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年7月1日 至2021年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年7月1日 至2022年3月31日)	増減額	増減額 (為替影響 除く)
国内	11,562	12,502	940	—
海外	2,388	2,489	100	△94
香港	1,289	1,297	8	△89
シンガポール	625	652	27	△20
台湾	403	400	△3	△45
アメリカ	70	138	67	62
連結	13,951	14,992	1,041	△94

(注) グループ会社間の内部取引控除後の金額を表示しております。

<国内>

2021年7月に緊急事態宣言の発令、さらに2022年1月にはまん延防止等重点措置が適用されましたが、感染防止策・衛生管理を徹底した上で営業を継続しました。前年に比べ営業時間を短縮した店舗数は減少し、また、ワクチン接種率の向上によって自粛ムードが和らいだことにより人出が増加し、シニアのお客様を中心に来店客数が回復傾向となったため、売上収益は、前年同期に比べ940百万円増加しました。

<香港>

新規感染者数が一時的に増加したことにより、来店客数は減少しましたが、円安に伴う為替影響により売上収益は、前年同期に比べ8百万円増加しました。

<シンガポール>

テレワークや外出自粛等の影響が一部で続いたため、来店客数は減少しましたが、円安に伴う為替影響により売上収益は、前年同期に比べ27百万円増加しました。

<台湾>

新規感染者数の増加が続いていることから、来店客数は減少し、円安に伴う為替影響も含めた売上収益は、前年同期に比べ3百万円減少しました。

<アメリカ(ニューヨーク)>

新規感染者数は減少傾向にあり、来店客数は回復しました。価格改定及び円安に伴う為替影響を含めて、売上収益は前年同期に比べ67百万円増加しました。

売上原価は、前年同期に比べ96百万円減少し、12,225百万円となりました。主な増減内容は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

項目	増減額	主な増減理由
人件費	△59	人員の適正化に伴う店舗スタイリストの減少
業務委託料	81	委託店舗の売上収益の増加
償却費(減損店舗)	△57	前期の店舗減損による減少
消耗品費(クシ代)	△47	クシの再利用開始による仕入数の減少

販売費及び一般管理費は、前年同期に比べ74百万円減少し、1,879百万円となりました。主な増減内容は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

項目	増減額	主な増減理由
人件費	△73	社内ヘアカットスクール研修生及び本社人員の減少
広告宣伝費	11	新規出店数の増加によるオープン時の販促費用の増加

その他の営業収益は国内の雇用調整助成金収入等の計上があった前年同期に比べ637百万円減少し、65百万円となりました。また、その他の営業費用も前年同期に比べ45百万円減少し、51百万円となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上収益は14,992百万円（前年同期比7.5%増）、営業利益は901百万円（同220.4%増）、税引前四半期利益は788百万円（同439.0%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は519百万円（同222.9%増）となりました。

店舗展開につきましては、22店舗出店いたしました。出店地域は、国内に19店舗（うち4店舗は移転）、海外は香港に1店舗、台湾に1店舗、アメリカに1店舗であります。また、国内は駅開発工事及び出店施設のリニューアル等により8店舗閉店（うち2店舗は移転済み）、海外は本感染症の影響を考慮した立地評価の見直しに伴う統廃合等により8店舗閉店、合計16店舗閉店したことから、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、前連結会計年度末より6店舗増加し、720店舗となりました。

なお、当社グループはヘアカット事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債及び資本の状況は次のとおりであります。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ459百万円減少し、5,181百万円となりました。これは主として、現金及び現金同等物の減少581百万円、営業債権及びその他の債権の増加78百万円等によるものであります。非流動資産は、前連結会計年度末に比べ31百万円減少し、24,961百万円となりました。これは主として、有形固定資産の減少92百万円、その他の金融資産の増加72百万円等によるものであります。その結果、資産は、前連結会計年度末に比べ490百万円減少し、30,143百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ709百万円減少し、6,990百万円となりました。これは主として、借入金の減少989百万円、未払法人所得税等の増加224百万円等によるものであります。非流動負債は、前連結会計年度末に比べ487百万円減少し、12,290百万円となりました。これは主として、借入金の減少514百万円、引当金の増加26百万円等によるものであります。その結果、負債は、前連結会計年度末に比べ1,196百万円減少し、19,281百万円となりました。

資本は、前連結会計年度末に比べ705百万円増加し、10,862百万円となりました。これは主として、利益剰余金の増加519百万円等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ581百万円減少し、4,020百万円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により増加した資金は、3,122百万円（前年同期は2,884百万円の増加）となりました。これは主として、税引前四半期利益788百万円、減価償却費及び償却費2,393百万円の計上等に対し、利息の支払額93百万円等の資金減少要因があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により減少した資金は、373百万円（前年同期は327百万円の減少）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出275百万円、差入保証金の差入による支出82百万円等の資金減少要因があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により減少した資金は、3,443百万円（前年同期は3,464百万円の減少）となりました。これは主として、短期借入金の純減額1,000百万円、リース負債の返済による支出2,011百万円等の資金減少要因があったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年6月期の業績予想に関しましては、2021年8月13日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。なお、本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	4,601	4,020
営業債権及びその他の債権	781	860
その他の金融資産	—	7
棚卸資産	104	95
未収法人所得税等	23	—
その他の流動資産	129	197
流動資産合計	5,641	5,181
非流動資産		
有形固定資産	1,502	1,410
使用権資産	5,313	5,268
のれん	15,430	15,430
無形資産	130	121
その他の金融資産	1,854	1,926
繰延税金資産	654	676
その他の非流動資産	107	128
非流動資産合計	24,992	24,961
資産合計	30,634	30,143
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	202	281
借入金	3,717	2,728
リース負債	2,350	2,288
未払法人所得税等	47	271
その他の金融負債	82	101
その他の流動負債	1,299	1,318
流動負債合計	7,699	6,990
非流動負債		
借入金	9,125	8,611
リース負債	3,016	3,006
その他の金融負債	91	83
繰延税金負債	15	36
引当金	514	541
その他の非流動負債	13	10
非流動負債合計	12,777	12,290
負債合計	20,477	19,281
資本		
資本金	1,245	1,272
資本剰余金	4,785	4,811
利益剰余金	4,129	4,649
自己株式	△0	△0
その他の資本の構成要素	△3	129
親会社の所有者に帰属する持分合計	10,156	10,862
資本合計	10,156	10,862
負債及び資本合計	30,634	30,143

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)
売上収益	13,951	14,992
売上原価	△12,321	△12,225
売上総利益	1,629	2,766
その他の営業収益	703	65
販売費及び一般管理費	△1,953	△1,879
その他の営業費用	△97	△51
営業利益	281	901
金融収益	9	10
金融費用	△144	△123
税引前四半期利益	146	788
法人所得税費用	14	△268
四半期利益	160	519
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	160	519
四半期利益	160	519
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	12.61	40.42
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	12.07	38.87

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)
四半期利益	160	519
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	79	142
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	79	142
その他の包括利益合計	79	142
四半期包括利益	240	662
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	240	662
四半期包括利益	240	662

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)

(単位: 百万円)

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
					在外営業 活動体の 換算差額	新株 予約権	合計
2020年7月1日残高	1,214	4,754	3,885	△0	△179	110	△68
四半期利益	—	—	160	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	79	—	79
四半期包括利益合計	—	—	160	—	79	—	79
新株の発行 (新株予約権の行使)	15	15	—	—	—	△8	△8
株式報酬費用	—	—	—	—	—	11	11
所有者との取引額合計	15	15	—	—	—	2	2
2021年3月31日残高	1,230	4,770	4,046	△0	△99	113	14

(単位: 百万円)

	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	資本合計
2020年7月1日残高	9,786	9,786
四半期利益	160	160
その他の包括利益	79	79
四半期包括利益合計	240	240
新株の発行 (新株予約権の行使)	22	22
株式報酬費用	11	11
所有者との取引額合計	34	34
2021年3月31日残高	10,061	10,061

当第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)

(単位: 百万円)

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
					在外営業 活動体の 換算差額	新株 予約権	合計
2021年7月1日残高	1,245	4,785	4,129	△0	△110	107	△3
四半期利益	—	—	519	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	142	—	142
四半期包括利益合計	—	—	519	—	142	—	142
新株の発行 (新株予約権の行使)	26	26	—	—	—	△14	△14
株式報酬費用	—	—	—	—	—	4	4
所有者との取引額合計	26	26	—	—	—	△10	△10
2022年3月31日残高	1,272	4,811	4,649	△0	32	97	129

(単位: 百万円)

	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	資本合計
2021年7月1日残高	10,156	10,156
四半期利益	519	519
その他の包括利益	142	142
四半期包括利益合計	662	662
新株の発行 (新株予約権の行使)	38	38
株式報酬費用	4	4
所有者との取引額合計	42	42
2022年3月31日残高	10,862	10,862

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	146	788
減価償却費及び償却費	2,462	2,393
減損損失	92	43
金融収益	△9	△10
金融費用	144	123
助成金収入	△674	△30
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△15	△51
棚卸資産の増減額 (△は増加)	36	12
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△31	△4
その他	39	△35
小計	2,191	3,229
利息の受取額	0	0
利息の支払額	△115	△93
助成金の受取額	619	30
法人所得税の還付額	271	29
法人所得税の支払額	△83	△74
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,884	3,122
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△303	△275
無形資産の取得による支出	△10	△27
差入保証金の差入による支出	△42	△82
差入保証金の回収による収入	32	27
その他	△4	△17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△327	△373
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,000	△1,000
長期借入金の返済による支出	△525	△525
セール・アンド・リースバックによる収入	55	55
リース負債の返済による支出	△2,017	△2,011
新株予約権の行使による収入	22	38
配当金の支払額	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,464	△3,443
現金及び現金同等物に係る換算差額	62	113
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△844	△581
現金及び現金同等物の期首残高	5,117	4,601
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,272	4,020

（6）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定は、前連結会計年度の決算短信に記載の内容から変更はありません。

（セグメント情報等）

当社グループは、ヘアカット事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（1株当たり利益）

基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 （自 2020年7月1日 至 2021年3月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2021年7月1日 至 2022年3月31日）
親会社の所有者に帰属する四半期利益（百万円）	160	519
普通株式の期中平均株式数（株）	12,762,530	12,861,008
希薄化効果のある普通株式数		
ストック・オプションによる増加（株）	575,552	514,937
希薄化後普通株式の期中平均株式数（株）	13,338,082	13,375,945
基本的1株当たり四半期利益（円）	12.61	40.42
希薄化後1株当たり四半期利益（円）	12.07	38.87

（重要な後発事象）

該当事項はありません。